学校番号	416

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史Ｂ新訂版（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年生では主に開国以降の歴史を扱うが、その前提として江戸時代の社会の変化をしっかりと学習する。東アジアをはじめとする国際環境の変化を重視しつつ，世界史の中での日本の動きを多面的・多角的に考察する。またその時々の社会の変化や政治的な動きが現在とどのようにつながっているのか、しっかりつかんでほしい。なお，学習を進めるに当たり、自ら学び・まとめる作業や学びあいを重視する。今起こっているコロナウイルスによるパンデミックなどに関連し、過去の事例に学ぶべきものにも注目する。

2　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ，我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する市民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	江戸時代④	列強の脅威と開国 幕末の動乱		○	○	 ○	b, c:統計資料などから貿易の実態を把握し，貿易のおよぼした影響について考察できる。 d:公武合体，尊王攘夷運動，倒幕運動に着目して，明治維新に至る動向を理解できる。	定期考査 プリント提出
	明治時代①	明治新政府 富国強兵と殖産興業 自由民権運動 立憲国家の成立	 ○ 	○ 	 ○ 	○ ○ ○	b:資料に基づき、明治新政府が強力な中央集権体制を構築する過程を考察できる。 a, c, d:資料に基づき、日本の産業面の近代化について関心をもち、理解を深める。 d:自由民権運動の展開と、大日本帝国憲法の意義について理解できる。	定期考査 プリント提出
	明治時代②	不平等条約改正 日本の東アジアへの進出 資本主義の発展と労働問題の発生	 ○	○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○	b:条約改正が国民の関心を集めた背景と，条約改正が実現した諸条件について考察できる。 b, c, d:日清戦争や日露戦争の展開と影響を理解し、当時の国民の意識について，史料から考察できる。 a, b, d 資本主義の確立過程を理解したうえで，ストライキや足尾鉱毒事件などの社会運動が発生し，さらに大逆事件が引き起こされるに至る経緯について関心をもち考察できる。	定期考査 プリント提出
二学期	大正時代	第一次世界大戦 政党政治 大正デモクラシー 護憲運動	 ○	 ○ ○		○	d:第一次世界大戦後の日本の軍縮や協調外交を世界史的視野で把握できる。 b:民衆運動の高揚のもとで，米騒動から原敬内閣が発足する経緯を考察できる。 a, b:普通選挙法と治安維持法の成立について，資本主義の発展による産業構造の変化や大戦景気とその後の不況で高まった社会運動を背景に関心をもって考察できる。	定期考査 プリント提出
	昭和時代①	昭和恐慌 軍部の台頭 太平洋戦争	 ○	○		○ ○ ○	b, d:昭和恐慌の経緯を理解し、国内の経済対策と経済の動揺について考察できる。 d:二・二六事件以降の軍部の発言力強化の過程について理解できる。 a, d:　太平洋戦争下における国民の生活について、資料に基づきリアリティをもって理解し、関心をもてる。	定期考査 プリント提出

三学期	昭和時代②	占領下の日本 55年体制と高度経済成長	 ○	 ○ ○	 ○	○	d:五大改革をはじめとするＧＨＱによる諸政策について理解できる。 b:保守合同による自由民主党の成立から経済成長を背景とした安定保守政権の誕生に至るまでを，外交・政治・経済を踏まえて多面的・多角的に考察できる。 a, b, c:消費の拡大による豊かさの享受，マス=メディアの発達などを取り上げる一方，農村の過疎化や公害問題などの社会問題に関心をもち，資料を取捨選択し情報をまとめることができる。	定期考査 プリント提出
	平成時代と今後の日本	大国としての日本の国際的役割		 ○	 ○	○	d:グローバル化が進み外交・政治・経済面において新たな課題が誕生したことが理解できる。 b, c:日本の国際的役割について、今日的な課題をふまえて、考察し表現できる。	定期考査 プリント提出

※　表中の観点について

a:　関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c:　資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。